

3月 はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和8(2026)年2月28日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」
自ら学ぶ子・人とつながる子
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

学校HP



9×10=91? ~失敗に隠された成功~



この時期、受験生にとっては、まさに受験シーズン真っ只中です。受験生の皆さんには、万全の状態です。試験に臨み、ぜひ希望進路を勝ち取ってくれることを切に願うばかりです。

さて、私もうん十年前には受験生でした。もっぱら理系は苦手な、ずっと文系の道をたどってきました。理系の中でも「物理」という教科はさっぱりで、理解不能の世界でした。そんな物理の世界で、「20世紀最高の物理学者」と評された『アインシュタイン』を皆さんはご存じだと思います。かの有名な「相対性理論」を考えた人ですが、そのアインシュタインが大学で教鞭をとっていた時に、こんな逸話が残されているのをご存じですか。

・・・とある授業で、黒板に

$9 \times 1 = 9$ $9 \times 2 = 18$ $9 \times 3 = 27$ $9 \times 4 = 36$... 最後に $9 \times 10 = 91$ と書いたそうです。そうすると、それを見ていた生徒達は、先生（アインシュタイン）が間違っていることに気づき思わず笑ってしまいました…。そして間違えたことに対してからかい始めた…。からかい、笑いがおさまるまで、先生は黙った。笑いがおさまってから、先生はこう伝えた。

$9 \times 10 = 91$ ではなく、 90 が正解だ。そんな答えはわかっていた。

君たちはたった一つ間違えただけでからかい笑った…。それまで9個の問題を正しく解いていたのに誰一人褒めることはなかった…。これが君たちの生きる世界だ！

このように社会では、成功よりもほんの小さな間違いを指摘されて失敗したといわれる…。

間違いはプロセスの一つだというのに…

じゃあ、間違えない唯一の人は誰だ???

それは何もしない人だ！

君たちはそんな大人になりたいか…



この話は、いろいろな示唆を与えてくれています。3月を迎え、大きな節目（進学や進級）の前に立つ子どもたちへのエールとして、2つの視点で考えてみたいと思います。

1つ目が、「失敗は成功のプロセス」ということです。「間違えない人とは、何もしない人である」とアインシュタインも断言しているように、失敗を恐れて何かにチャレンジする気持ちが萎えてしまえば成長はありません。一つ一つの失敗や間違いから学び、それを糧にし、人は大きくなっていきます。そのためにも、子どもたちには失敗に負けない、くじけない強い気持ちや心をしっかり養いたいものです。

1つの失敗に対して、強く指摘される厳しさが社会にはありますが、その前にある「9つの成功」に目を向け、チャレンジしようとする意欲を奮い立たせてほしいと願います。そして、多くの可能性を秘めた子どもたちには、ぜひ失敗を恐れずに、新しいことに積極的にチャレンジし、節目を越えたときに大きく成長した自分を実感してほしいと思います。



2つ目が、「成功の捉え方」です。失敗の陰には、きっとその何倍もの成功があるはずですが、何をもって成功とするかはありますが、子どもが行う「できて当たり前なこと」も小さな成功と捉え、大げさでなくてもいいので、それをきちんと大人が子どもに伝えることが必要だと思います。アイコンタクトであったり、親指を立てての「グッド」サインであったり、頭をなでたりなど、「ちゃんと見てたよ」「それでいいんだよ」というメッセージを伝えて、子どもに勇気を与えられる大人でありたいと思います。当たり前のことを当たり前でできる「すごさ」を、きちんと認めることができるそんな指導者でありたいと思います。

先日ミラノ・コルティナオリンピックが終わりました。失敗や挫折を乗り越え、4年間もの間頑張りぬいたアスリートたちの活躍に多くの感動をもらいました。新舞鶴っ子たちからも、この1年間の頑張りにより大きく成長した姿から感動をもらえる3月になることを期待しています。

いよいよ今年度を締めくくる3月が始まります。それぞれが新しいステージへの門出となります。子どもたち一人一人が抱く「夢(目標)」への挑戦をしっかりと後押しできるように、最後まで粘り強く可能性を伸ばしていきたいと思ひます。保護者、地域の皆様もぜひ子どもたちの夢の実現に対して、最後まで力強いご支援を賜りますようお願いいたします。今月もよろしくお願ひいたします。

校長 亀井 敬介 教職員一同